

令和7年9月19日

お客様 各位

PORTOBELLO ROAD株式会社
CEO 奈良崎 匡平



顧客情報流出に関するお詫びのご連絡

謹啓

初秋の候、お客様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、PBRレンディングをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、弊社は、令和7年9月18日付けですべてのお客様宛にメールをお送りし、「合同会社リンクスゲート（東京都台東区上野三丁目16-2・410所在。代表者：田口大幹。）が運営する『Linux Lending』と称する暗号資産レンディング事業者から勧誘の郵便物が届いたかどうかについて情報をお寄せいただくようお願いいたしました。その結果、リンクスゲート社が、弊社の承諾なく、200名を超える（現時点の集計結果ですので、もっと多いものと考えております。）弊社のお客様に対して、郵便物を送付していたことが明らかとなりました。弊社としては、一部顧客情報が不正に取得され、それが流用されたとしか考えられない状況に接し、全社一丸となって原因の究明と再発防止策の実施を進めているところでございますが、まずは、お客様にご心配とご不安を与える事態を招いたことについて、深く陳謝いたします。誠に申し訳ありません。

リンクスゲート社が弊社の顧客情報を入手することができた原因につきましては、システム部の総力をあげて調査中であり、現時点では確定的なことは申し上げられませんが、少なくとも外部からの不正アクセス（ハッキング等）の可能性は低いことが明らかとなっております。

同時に、弊社は、暗号資産の保管（お客様からお貸出いただいている暗号資産のうち、運用せずに弊社が保有している部分）に関する安全性の総点検を行いました。不正なアクセス等はなく、実際の保有数量とデータ上の保有数量とが一致しており、何らの問題もないことを確認いたしました。今回の顧客情報の流出の件が、暗号資産の流出を招く事態はありません。

るので、どうぞご安心いただければ幸いです。

弊社は、本日19日付けで、リンクスゲート社及び同社の代表者である田口大幹氏に対し、弊社から不正に取得した顧客情報の使用を直ちに中止すること、取得したすべての情報を弊社に返還すること、取得経緯の説明と謝罪、損害の賠償を求める内容の通知書を内容証明郵便の形式で送付いたしました。弊社としては、話し合いによるすみやかな解決を望んでおりますが、リンクスゲート社の行為は、不正競争防止法第2条4号に定める不正競争行為であり、極めて悪質なことから、万一、同社が誠意ある対応をみせない場合は、刑事告訴を含めた断固たる措置を講じる所存です。

弊社としては、2周年記念祭を行い、3年目の事業に入った矢先にこのような事態を招き、「万全はない」と改めて痛感させられました。今回の件について、お客様からは厳しいご叱責とともに暖かい応援のメッセージもいただいております、感謝に堪えません。まずは毀損した信頼を回復し、改めてお客様に安心してご利用いただけるサービスとするべく、再発防止策の実施と業務改善に努めてまいります。本件の完全な終息にはまだ時間を要しますが、状況については随時メール及びホームページにてご報告申し上げます。ご不明な点やご心配な事項等がございましたら、弊社カスタマーサポート宛ご連絡いただければ幸いです。

改めまして、このたびは、弊社事業への信頼を揺るがす事態を招き、お客様にご迷惑ならびにご不便をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。ご不安を抱かれるのはもちろんですが、以上のとおり対応を進めておりますので、引き続きお取引いただきますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白